

会計名			認可外保育所運営支援事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	2	1								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	認可保育所を補完するため、認可外保育所を運営する事業者に保育を委託し、認可外保育所の保育環境の向上を図る。				主たる内容	市の定める基準に適合する認可外保育所に対して、保育を必要とする3歳未満児の保育を委託する。			
		位置づけ	関連計画	刈谷市こども計画						
		根拠法令	認可外保育所運営委託基準、事業所内保育所保育委託基準							
		対象者	認可外保育施設、事業所内保育所		事業期間		平成9年度～			
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・委託契約 13施設 ・延べ委託児童数 1,093人		・委託契約 13施設 ・延べ委託児童数 1,168人		・委託契約 14施設 ・延べ委託児童数 1,354人		・委託契約 14施設 ・延べ委託児童数 1,420人		
成果		令和7年度は市内14の認可外保育施設と委託契約を結び、認可保育所に入所できなかった3歳未満児の保育環境の向上を図ることができた。								
課題		大規模な宅地開発やマンション建設が進む地域もあるため、保育ニーズを注視しながら適切に予算措置をしていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		認可外保育所委託契約数（施設）			13	13	14	14	14	
成果指標		延べ委託児童数（人）			1,093	1,168	1,354	1,420	1,420	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		12,342	13,606	17,289	17,800	合計 17,289,000 円			
	財源	特定財源	60	84	95	133	委託料 17,146,100 円			
		一般財源	12,282	13,522	17,194	17,667	負担金、補助及び交付金 142,900 円			
	職員人件費 ②		1,151	1,195	1,240	1,270				
	総事業費（①+②）		13,493	14,801	18,529	19,070				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		保育環境改善等事業費補助金				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			認可外保育所運営支援事業		担当部	次世代育成部
一般会計					担当課	子ども課
款	項	目			担当係	管理係
3	2	1				
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	認可外保育所及び事業所内保育所の事業に対して補助を行うことにより、保育の充実化や待機児童解消に向けての対応が図られているため、必要性の高い事業と言える。	
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		高い	保育が必要な3歳未満児の保育を認可外保育所及び事業所内保育所が行うことで、待機児童への早急かつ効率的な対応ができる。	
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	認可外保育所及び事業所内保育所の事業や保育環境を充実するために市の関与が妥当である。	
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	刈谷市内の保育施設の充実に寄与している。	
	今後の方向性		□拡充 ■現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止			
	大規模な宅地開発やマンション建設が進む地域もあるため、保育ニーズを注視しながら適切に予算措置をしていく必要がある。					

会計名			認可外保育所利用補助事業				担当部	次世代育成部								
一般会計							担当課	子ども課								
款	項	目					担当係	管理係								
3	2	1														
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心													
		基本施策	子育て支援													
		施策の内容	幼児教育・保育の充実													
	目的	認可外保育所利用者の保育料負担を軽減することにより、子育て支援の充実を図る。				主たる内容	認可保育所への申込みを行ったが、入所できずに認可外保育所を利用することになった3歳未満児の保護者に対して、所得に応じて保育料を補助する。									
		位置づけ	関連計画													
		根拠法令	刈谷市認可外保育施設利用料補助金交付要綱													
		対象者	保護者		事業期間		平成24年度～									
	実施方法	□直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他														
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績	補助人数 80人		6年度実績		補助人数 82人		7年度実績		補助人数 88人		8年度計画		補助人数 97人	
			補助件数 延べ569件		補助件数 延べ596件		補助件数 延べ601件		補助件数 延べ1,164件							
令和7年10月から第二子に対する補助を拡充し、認可外保育所を利用する保護者の負担をさらに軽減することができた。																
大規模な宅地開発やマンション建設が進む地域もあるため、保育ニーズを注視しながら適切に予算措置をしていく必要がある。																
指標名称（単位）																
実績値		目標値														
5年度		6年度		7年度		8年度		10年度								
活動指標		補助人数（人）		80	82	88	97	97								
指標																
他市との比較検証																
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳									
	事業費 ①		13,168	13,446	17,333	34,388	合計 17,333,200 円									
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 17,333,200 円									
		一般財源	13,168	13,446	17,333	34,388										
	職員人件費 ②		767	796	827	847										
	総事業費（①+②）		13,935	14,242	18,160	35,235										
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称											
		7年度までの累積事業費		0												
		9年度以降の事業費見込		0												

会計名			認可外保育所利用補助事業		担当部	次世代育成部
一般会計					担当課	子ども課
款	項	目			担当係	管理係
3	2	1				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	認可保育所を希望しても入所できず、認可外保育所を利用する保護者にとって、利用料の補助があることにより負担の軽減となる。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	毎月、補助を行うことにより、継続的に保護者の負担の軽減を図っている。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	利用料の補助を実施することにより、認可保育所と同程度の保育料負担にすることができる。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	保護者の保育料負担の軽減に寄与している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	大規模な宅地開発やマンション建設が進む地域もあるため、保育ニーズを注視しながら適切に予算措置をしていく必要がある。					

会計名			私立保育所運営支援事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	私立保育所の運営に係る費用を補助することで、保育士等の処遇向上や施設の運営改善等保育環境の向上を図る。				主たる内容	私立保育所に運営を委託し、次に掲げる補助を行う。 ○職員処遇費 ○1歳児保育事業費 ○産休等代替職員設置費 ○保健師等設置費 ○障害児保育事業費 ○祝日保育事業費 ○管理費 ○借入金返済費 ○緊急地震速報受信装置設置費 等		
		位置づけ	関連計画	刈谷市こども計画					
		根拠法令	児童福祉法、子ども・子育て支援法、刈谷市私立保育所運営費等補助金交付要綱 等						
		対象者	特定教育・保育施設、地域型保育事業者	事業期間	～				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
		・運営委託 ・運営補助		・運営委託 ・運営補助		・運営委託 ・運営補助		・運営委託 ・運営補助	
成果		私立保育所に委託や補助をすることで、安定した施設運営を続けることができた。							
課題		子ども・子育て支援交付金、保育対策総合支援事業費補助金などの国・県の補助内容の動向を注視する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
活動指標		委託保育施設数（施設）			11	11	11	12	14
活動指標		待機児童数（人）			0	10	13	15	0
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,648,917	1,902,061	2,058,002	2,837,253	合計 2,058,001,952 円		
	財源	特定財源	1,049,883	1,253,042	1,338,065	1,777,965	委託料 1,754,287,414 円		
		一般財源	599,034	649,019	719,937	1,059,288	負担金、補助及び交付金 303,714,538 円		
	職員人件費 ②		7,212	6,530	6,781	6,942			
	総事業費（①+②）		1,656,129	1,908,591	2,064,783	2,844,195			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0		子どものための教育・保育給付交付金			
		9年度以降の事業費見込		0		子ども・子育て支援交付金 私立保育所保護者負担金 等			

会計名			私立保育所運営支援事業		担当部	次世代育成部
一般会計					担当課	子ども課
款	項	目			担当係	管理係
3	2	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	私立保育所に対して補助を行うことにより、保育環境の充実化や待機児童解消に向けての対応が図られており、必要性の高い事業である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	市に必要な保育所の建設や運営の一部を私立保育所が行うことで、待機児童への早急かつ効率的な対応ができる。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	私立保育所の事業や保育環境を充実するための市の関与が妥当である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	刈谷市内の私立保育所の運営、充実に寄与している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	今後も私立保育所の運営等の支援や補助を行い、職員の処遇向上、待機児童の解消を図る。					

会計名			私立保育所整備支援事業				担当部		次世代育成部			
一般会計							担当課		子ども課			
款							項目		担当係		施設係	
3							2		3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野		福祉安心								
		基本施策		子育て支援								
		施策の内容		幼児教育・保育の充実								
	目的		私立保育所の整備費に対して補助を行うことにより、民間事業者の積極的な保育所運営を促し、待機児童の解消を図る。			主たる内容		民間事業者が行う認可保育所整備に対して費用の一部を助成する。				
	位置づけ	関連計画		刈谷市こども計画								
		根拠法令		児童福祉法、就学前教育・保育施設整備交付金交付要綱、刈谷市私立保育所施設整備費補助金交付要領								
	対象者		事業者			事業期間		～				
	実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画				
						・木の実乳児園整備改修費補助		・北部地域の保育園建設費補助				
成果		私立保育所を新設することにより、定員の拡大が図られ、待機児童が発生している状況を緩和することができた。										
課題		本市の保育ニーズの状況変化や保育所等整備交付金の国庫補助内容の動向に引き続き注意が必要である。										
指標名称（単位）				実績値			目標値					
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
活動指標		補助件数（件）			—	—	1	1	—			
成果指標		待機児童数（人）			—	—	13	15	—			
他市との比較検証												
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
	事業費 ①		0	0	72,618	169,062	合計 72,617,540 円					
	財源	特定財源	0	0	47,995	112,702	報償費 87,100 円					
		一般財源	0	0	24,623	56,360	旅費 10,440 円					
	職員人件費 ②		0	0	2,977	3,048	委託料 528,000 円					
	総事業費（①＋②）		0	0	75,595	172,110	負担金、補助及び交付金 71,992,000 円					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称							
		7年度までの累積事業費		0	就学前教育・保育施設整備交付金（国）							
		9年度以降の事業費見込		0								

会計名			私立保育所整備支援事業	担当部	次世代育成部	
一般会計				担当課	子ども課	
款	項	目		担当係	施設係	
3	2	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	私立保育所の建設費補助を行うことにより、保育環境の充実や待機児童解消に向けての対応が図られるため、必要性の高い事業と言える。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	市に必要な保育所の建設を民間事業者が行うことで、国庫補助を受けられるとともに、待機児童解消への早急かつ効率的な対応ができるため、費用対効果が高い手段である。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	待機児童の状況や保育環境を充実するため、市が主体となって実施すべき事業である。また、総合計画、刈谷市子ども計画に位置付けられた取組である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	市内の私立保育所の整備及び保育環境の充実に寄与している。	
	今後の方向性		■ 拡充 □ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止			
	今後も私立保育所の整備のため、建設費補助を行い、待機児童の解消を図る。					

会計名			衣浦幼児園大規模改造事業				担当部		次世代育成部						
一般会計							担当課		子ども課						
款							項		目		担当係		施設係		
3							2		4						
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野		福祉安心											
		基本施策		子育て支援											
		施策の内容		幼児教育・保育の充実											
	目的		園舎の機能を回復させるとともに、保育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、施設の保全及び良好な保育環境の維持を図る。				主たる内容		昭和59年に建設された園舎の内外装及び設備の改修工事等を行い、施設の延命化及び予防的な保全を行う。 構造：鉄筋コンクリート造2階建て 規模：延床面積 1,265㎡						
	位置づけ	関連計画													
		根拠法令													
	対象者		幼児園児、保護者				事業期間		令和7年度 ～ 令和7年度						
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他												
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画							
						・大規模改造工事									
成果		老朽化による建物の損耗や機能低下の復旧を目的とした園舎の大規模改造工事を実施し、良好な保育環境への改善ができた。													
課題															
指標名称（単位）				実績値			目標値								
				5年度		6年度		7年度		8年度		10年度			
活動指標		整備進捗率（％）				—		—		100.0		—		—	
活動指標															
他市との比較検証															
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）		6年度（決算）		7年度（決算）		8年度（予算）		7年度事業費内訳			
	事業費 ①		0		0		249,666		0		合計 249,665,663 円				
	財源	特定財源	0		0		229,057		0		需用費 1,376,495 円				
		一般財源	0		0		20,609		0		工事請負費 246,951,100 円 備品購入費 1,338,068 円				
	職員人件費 ②		0		0		1,488		0						
	総事業費（①＋②）		0		0		251,154		0						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称									
		7年度までの累積事業費		0		・就学前教育・保育施設整備交付金（国） ・公共施設維持保全基金繰入他									
		9年度以降の事業費見込		0											

会計名			衣浦幼稚園大規模改造事業	担当部	次世代育成部	
一般会計				担当課	子ども課	
款	項	目		担当係	施設係	
3	2	4				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	良好な教育・保育環境を提供するために、必要性の高い事業である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	近接している幼稚園を使用することで仮設園舎を用いずコストを抑え、園の運営に配慮できた。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	老朽化していた施設を改修して教育・保育環境を向上させる事業であり、市の全体的な関与が必要である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	幼稚園の整備・充実に寄与している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			

会計名			保育教諭研修事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	保育園係		
3	2	1						幼児園係		
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	保育内容の充実と質の向上を目的に研修計画に基づき、実践に活かしていける研修や保護者支援、子育て支援につながる研修を取り入れて実施する。				主たる内容	各種研修会を開催するとともに、県・外郭団体が行う研修会に参加する。 ○各種研修会 ・保育指導研修 ・保育実技研修 ・園長、主任研修 ○研修旅費 ・園長・主任研修 ・初任・中堅保育士研修等			
		位置づけ	関連計画	刈谷市こども計画						
		根拠法令								
		対象者	保育園・幼児園保育教諭		事業期間		～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	B事業実績 実績 O ハ 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・保育園職員研修 43回 724人 ・幼児園職員研修 40回 586人 ・保育園幼児園合同研修 7回 283人 ・愛知県現任保育士研修 5回 11人		・保育園職員研修 50回 961人 ・幼児園職員研修 36回 442人 ・保育園幼児園合同研修 12回 277人 ・愛知県現任保育士研修 5回 10人		・保育園職員研修 48回 800人 ・幼児園職員研修 40回 500人 ・保育園幼児園合同研修 10回 280人 ・愛知県現任保育士研修 5回 10人		・保育園職員研修 50回 820人 ・幼児園職員研修 45回 510人 ・保育園幼児園合同研修会 10回 300人 ・愛知県現任保育士研修 5回 10人		
成果		保育教諭の課題に沿った実技研修は、園で行ったことで多くの保育教諭が参加することができ、即保育に活かせることができた。園で行うことで、同じ地域の園にも案内し、共に学びあう体制づくりを整えることができた。実技研修や保育の基本である子ども理解について学ぶことで、保育に対する意欲の高まりを感じる。また、経験年数に応じた研修を受けた職員が、自己の立場を自覚し役割に応じた職責を担い、力を発揮できている。								
課題		保育教諭研修計画に基づき、保育教諭の資質向上を目指しながらも、研修が保育教諭の負担にならず学ぶ意欲につながるようにしていくため、研修の形態及び内容や講師の選択等を考えていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		保育士研修を受講した保育士の割合（％）			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標										
他市との比較検証										
C事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,912	7,101	5,969	8,535	合計	5,969,060 円		
	財源	特定財源	878	2,906	2,503	3,637	報償費	4,764,280 円		
		一般財源	5,034	4,195	3,466	4,898	旅費	863,280 円		
	職員人件費 ②		3,836	3,982	4,134	4,233	委託料	250,000 円		
	総事業費（①＋②）		9,748	11,083	10,103	12,768	負担金、補助及び交付金	91,500 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金				
9年度以降の事業費見込		0		教育支援体制整備事業費交付金						

会計名			保育カウンセラー事業				担当部		次世代育成部											
一般会計							担当課		子ども課											
款							項目		目		担当係		保育園係							
3							2		1				幼児園係							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野		福祉安心																
		基本施策		子育て支援																
		施策の内容		幼児教育・保育の充実																
	目的		臨床心理士等が、保育カウンセラーとして保護者等の子育てに関する相談について、専門的な立場から指導を行い、育児不安を解消したり、保育に生かしたりして育児支援を行う。				主たる内容		保育カウンセラーが市内保育園及び幼児園を年5～8回巡回し、子どもの発達や育児に悩む保護者と保育教諭等の相談に対応する。											
	位置づけ	関連計画																		
		根拠法令																		
	対象者		保護者、保育園・幼児園保育教諭				事業期間		平成19年度～											
	実施方法		■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他																	
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績			7年度実績			8年度計画										
		・訪問回数 105回 ・相談件数 471件 うち保護者 39件 園児 405件 保育教諭 27件		・訪問回数 443回 ・相談件数 527件 うち保護者 99件 園児 406件 保育教諭 22件			・訪問回数 165回 ・相談件数 510件 うち保護者 99件 園児 376件 保育教諭 35件			・訪問回数 105回 ・相談件数 520件 うち保護者 100件 園児 400件 保育教諭 35件										
成果		個別に支援が必要な子や障害のある園児が増えていることや、母親の子育てに関する不安感も増し、カウンセリングを受けることで、保育指導の充実と母親の子育てに関する不安解消が図れている。 各園の訪問回数を確保することで、継続観察が必要な子に指導がもらえ、また、保護者からの相談にも対応できるようにしている。																		
課題		臨床心理士等から専門的立場で子どもを見てもらえるため、保育指導への効果が大きく、保護者への相談に柔軟に対応しているが、各園の支援の必要な園児の人数にばらつきがあるため、あらかじめ、各園の必要な訪問回数を検討しながら配置する事が必要であった。																		
指標名称（単位）					実績値			目標値												
					5年度			6年度			7年度			8年度			10年度			
活動指標		年間訪問回数（回）			180			210			210			210			220			
活動指標		相談件数（件）			500			480			490			490			500			
他市との比較検証		近隣市においても、臨床心理士等に指導を仰ぎ実施しているところもあるが、回数や時間数はばらつきがある。今後もより一層の充実を図る必要がある。																		
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）		6年度（決算）		7年度（決算）		8年度（予算）		7年度事業費内訳								
	事業費 ①		5,660		5,665		5,764		5,913		合計 5,764,000 円									
	財源	特定財源		1,285		1,277		2,032		2,032		報償費 5,764,000 円								
		一般財源		4,375		4,388		3,732		3,881										
	職員人件費 ②		3,836		3,982		4,134		4,233											
	総事業費（①+②）		9,496		9,647		9,898		10,146											
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称														
		7年度までの累積事業費		0		保育対策総合支援事業費補助金														
9年度以降の事業費見込		0																		

会計名			園児文化・スポーツ体験事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	保育園係		
3	2	1						幼児園係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	児童が豊かな感性や多様な価値観を身に付けられるよう、文化やスポーツに関する体験機会の充実を図る。				主たる内容	人形劇の鑑賞会やサッカー選手等を招いたサッカー教室等を開催する。			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令								
	対象者	保育園児及び幼児園児				事業期間	～			
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・サッカー教室開催（刈谷幼児園はじめ21園） ・人形劇上演（刈谷幼児園はじめ23園） 「ひもルンパ」など ・劇上演（刈谷幼児園はじめ19園）刈谷にちなんだ演目		・サッカー教室開催（刈谷幼児園はじめ21園） ・人形劇上演（刈谷幼児園はじめ23園） 「わいわいパペットおんがくたい」など ・劇上演（刈谷幼児園はじめ19園）刈谷にちなんだ演目		・サッカー教室開催（刈谷幼児園はじめ21園） ・人形劇上演（平成幼児園はじめ23園） 「わいわいパペットおんがくたい」など ・劇上演（刈谷幼児園はじめ19園）刈谷にちなんだ演目		・サッカー教室開催（刈谷幼児園はじめ21園） ・人形劇上演（刈谷幼児園はじめ23園） 「やんすけとやんすけとやんすけ」など ・劇上演（刈谷幼児園はじめ19園）刈谷にちなんだ演目		
成果		専門家による人形劇を観劇することにより、園児の情操を育てることができた。劇上演では、刈谷にゆかりのある作家の童話劇を観劇することで郷土に親しむことができた。 サッカー教室では、園児が楽しめるメニューにより、体を動かす楽しさを体験することができた。								
課題		情操教育につながる、郷土愛が深まる内容を検討する。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		実施回数（回）				42	42	42	42	42
活動指標		サッカー教室の開催数（回）				42	42	42	42	42
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	5,886	5,988	6,255	合計	5,988,300 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	5,988,300 円		
		一般財源	0	5,886	5,988	6,255				
	職員人件費 ②		0	1,911	1,985	2,032				
	総事業費（①＋②）		0	7,797	7,973	8,287				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			チビッコ甲冑事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	1						保育園係幼児園係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	刈谷城が築城された1533年（戦国時代）当時の時代背景や出来事、刈谷城に対する考え方や歴代藩主によるまちづくり等に思いを巡らせ、未来を担う子ども達が先人の知恵や生き方を学ぶことにより、刈谷市の未来を紡ぎ出す。				主たる内容	市内保育園及び幼児園の5歳児を対象に、ダンボール（厚紙）製の甲冑を製作する。製作後は、運動会や園の行事などで活用する。		
		位置づけ							
		関連計画							
		根拠法令							
	対象者	保育園児及び幼児園児				事業期間	平成25年度～		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
・甲冑製作 保育園16園 幼児園15園 ・各園行事実施 保育園 22回 幼児園 31回		・甲冑製作 保育園15園 幼児園15園 ・各園行事実施 保育園 25回 幼児園 31回		・甲冑製作 保育園12園 幼児園15園 ・各園行事実施 保育園 20回 幼児園 33回 市政施行75周年パレード 1回		・甲冑製作 保育園12園 幼児園15園 ・各園行事実施 保育園 25回 幼児園 35回			
成果		各園で甲冑製作をし、チビッコ甲冑行列を開催することで刈谷城築城当時の歴史を学ぶことができた。また、運動会や地域の行事に加え、デイサービスや老人ホーム先で披露するなど、2回以上行事で活用することができた。市政施行75周年パレードにも参加し、市民に披露することができた。							
課題		子どもたちが甲冑製作や甲冑を着用した行事に参加する際に、刈谷の歴史について興味が広がるよう、歴史に触れる機会や、刈谷城や先人の知恵について話を聞くなどの行事の内容の工夫をしていく。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
活動指標		行事実施回数（回）			53	56	54	60	60
指標									
他市との比較検証		刈谷市独自事業							
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,766	1,886	2,123	2,000	合計	2,123,231 円	
	財源	特定財源	1,000	1,000	1,000	1,000	需用費	2,123,231 円	
		一般財源	766	886	1,123	1,000			
	職員人件費 ②		3,069	3,185	3,308	3,386			
	総事業費（①＋②）		4,835	5,071	5,431	5,386			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0		児童福祉事業費寄附金			
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			ちびっこ絵画展事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	保育園係	
3	2	1						幼児園係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	園児による日常的な生活表現の作品展示を通じ、児童の絵のすばらしさを知る。			主たる内容	市内保育園及び幼児園の0歳児から5歳児が園生活の中で「思いのままに描いた」生活表現を刈谷市美術館で展示する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	保育園児・幼児園児、保護者			事業期間	～		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	・参加施設 保育園 7園 幼児園 5園 ・出品人数 1,434人 ・絵画展 延べ来場者数 3,930人		・参加施設 保育園 6園 幼児園 5園 ・出品人数 1,395人 ・絵画展 延べ来場者数 4,103人		・参加施設 保育園 4園 乳児園 2園 幼児園 5園 ・出品人数 1,377人 ・絵画展 延べ来場者数 3,848人		・参加施設 保育園 5園 乳児園 2園 幼児園 5園 ・出品人数 1,500人 ・絵画展 延べ来場者数 4,500人		
	成果	子どもたちが「思いのままに描いた」絵を展示し、多くの方に見てもらうことができた。また、描かれた絵や子どもの園生活の写真を通して、乳幼児の描画発達や刈谷市の保育を知っていただくよい機会となった。市政75周年のイベントも用意したことで、親子で楽しむこともできた。							
	課題	市内全保育園・幼児園の作品を一同に展示をすることは会場面積上困難であるため、作品展示数は限られている。乳幼児の描画発達や刈谷市の保育をより理解していただくため、今後も園をグループに分けて順番に展示する方法を継続していく必要がある。							
	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	ちびっこ絵画展参加施設数（施設）		12	12	11	12	12	
	活動指標	ちびっこ絵画展来場者数（人）		3,930	4,103	3,848	4,500	4,500	
	他市との比較検証								
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
事業費 ①		750	772	732	738	合計	731,581 円		
財源		特定財源	0	0	0	0	需用費	594,781 円	
		一般財源	750	772	732	738	使用料及び賃借料	136,800 円	
職員人件費 ②		614	637	662	677				
総事業費（①＋②）		1,364	1,409	1,394	1,415				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0					
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			外国人園児等支援事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	幼児園係	
3	2	1						保育園係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	日本語の理解できない外国人園児や保護者に対し通訳を巡回させ、園での相談等に応じて、安定した園生活が送れる環境を整える。				主たる内容	通訳者が市内保育園及び幼稚園を巡回しながら、日本語が理解出来ない園児や保護者との通訳や、手紙の翻訳等を行う。		
		位置づけ							
		関連計画							
		根拠法令							
	対象者	保育園児・幼稚園児、保護者、保育教諭				事業期間	～		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
・訪問回数 月約16回 ・午前3時間あるいは午後4時間あるいは一日7時間 ・年間 300件		・訪問回数 月約28回 ・午前3時間あるいは午後4時間 ・年間 294件		・訪問回数 月約20回 ・一日3時間から4時間 ・年間 249件		・訪問回数 月約20回 ・一日3時間から4時間 ・年間 280件			
成果		子ども同士のトラブルがあった時に、日本語が通じない園児と母国語で会話したり、保護者に園での子どもの様子を伝えたり、保護者対応をしていただいたことで、お互いの理解につながった。また、手紙や子どもの記録を翻訳して保護者に渡すことで園生活の理解につながり、保護者との意思の疎通が行われた。							
課題		多様な国の園児が増えており、国によっては通訳が確保できていない。また、同じ国の通訳ができる先生が1人しかおらず、逼迫している。今後も多国籍語の通訳者が必要となる。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
活動指標		年間訪問回数（回）		243		280	290	290	290
活動指標		相談件数（件）		300		300	300	300	300
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		759	725	689	1,000	合計	688,738 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	688,738 円	
		一般財源	759	725	689	1,000			
	職員人件費 ②		1,151	1,593	1,654	1,693			
	総事業費（①＋②）		1,910	2,318	2,343	2,693			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0					
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			特定教育・保育施設等運営支援事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	2	1								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	特定教育・保育施設及び地域型保育事業を利用する児童のため、特定教育・保育施設及び地域型保育事業に対し、財政支援を行い、教育・保育環境の向上を図る。				主たる内容	保育認定で他市町村の特定保育施設に入所した場合に、入所した特定保育施設に対し、公定価格に基づく委託費の支払いを行う。 また、教育認定で入所した場合や地域型保育事業を利用した場合に、公定価格に基づく施設型給付費及び地域型保育給付費の支払いを行う。			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令	子ども・子育て支援法							
		対象者	特定教育・保育施設、地域型保育事業者		事業期間		～			
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・利用施設 14施設 ・利用児童数 133人		・利用施設 19施設 ・利用児童数 149人		・利用施設 17施設 ・利用児童数 154人		・利用施設 17施設 ・利用児童数 154人		
成果		利用施設に給付費を支給することで、施設の安定した運営に寄与することができた。								
課題		将来の利用者数の状況は不透明ではあるが、大規模な宅地開発やマンション建設などを注視しつつ、適切な予算措置をしていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		利用施設（施設）			14	19	17	17	17	
活動指標		利用児童数（人）			133	149	154	154	154	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		98,651	97,290	101,298	138,071	合計 101,297,777 円			
	財源	特定財源	67,456	67,567	69,755	96,170	委託料 532,100 円			
		一般財源	31,195	29,723	31,543	41,901	負担金、補助及び交付金 878,000 円			
	職員人件費 ②		1,841	1,752	1,819	1,863	扶助費 99,887,677 円			
	総事業費（①＋②）		100,492	99,042	103,117	139,934				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		子どものための教育・保育給付交付金				
		9年度以降の事業費見込		0		施設型教育・保育給付費等負担金 等				

会計名			子育てのための施設等利用給付事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	2	1							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	幼児教育・保育無償化の実施に伴い、認可外保育施設、一時預かり事業、病児病後児保育事業、子育て援助活動支援事業の施設等を利用した保育を必要とする子どもの保護者へ、施設等利用費を給付し、経済的負担の軽減を図る。				主たる内容	認可外保育施設、一時預かり事業、病児病後児保育事業、子育て援助活動支援事業の施設等を利用した保育を必要とする子どもの保護者について、3～5歳児は3.7万円、0～2歳児は4.2万円（新制度未移行幼稚園児は1.13万円）を上限に、施設等利用費を給付する。		
		位置づけ	関連計画						
		根拠法令	子ども・子育て支援法						
	対象者	施設等利用給付認定保護者			事業期間	令和元年度～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
		・給付人数 延べ8,139人		・給付人数 延べ4,237人		・給付人数 延べ3,769人		・給付人数 延べ4,145人	
成果		認可外保育施設、一時預かり事業、病児病後児保育事業、子育て援助活動支援事業の施設等を利用した保育を必要とする子どもの保護者への経済的負担を軽減することができた。							
課題		大規模な宅地開発やマンション建設が進む地域もあるため、保育ニーズを注視しながら適切に予算措置をしていく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
活動指標		延べ児童数（人）			8,139	4,237	3,769	4,145	5,126
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		27,974	30,406	47,375	44,999	合計	47,374,652 円	
	財源	特定財源	20,796	21,069	33,441	33,748	扶助費	47,374,652 円	
		一般財源	7,178	9,337	13,934	11,251			
	職員人件費 ②		2,072	1,752	1,819	1,863			
	総事業費（①＋②）		30,046	32,158	49,194	46,862			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0		子育てのための施設等利用給付交付金（国）			
		9年度以降の事業費見込		0		子育て支援施設等利用給付費負担金（県）			

会計名			私立幼稚園利用給付事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	2	1								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	幼児教育・保育無償化への実施に伴い、私立幼稚園を利用した保護者へ、施設等利用費及び給食費の補助を給付し、経済的負担の軽減を図る。				主たる内容	私立幼稚園を利用した保護者について、月額25,700円を上限に施設等利用費を給付し、低所得世帯及び国基準の第3子の世帯に給食費の一部を補助する。			
		位置づけ								
		関連計画	刈谷市こども計画							
		根拠法令	子ども・子育て支援法							
	対象者	施設等利用給付認定保護者				事業期間	令和元年度～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
・給付人数 延べ4,180人 ・副食費免除者数 13人		・給付人数 延べ3,668人 ・副食費免除者数 17人		・給付人数 延べ3,244人 ・副食費免除者数 16人		・給付人数 延べ3,568人 ・副食費免除者数 16人				
成果		私立幼稚園を利用する子どもの保護者への経済的負担を軽減することができた。								
課題		将来の利用者数の状況は不透明ではあるが、大規模な宅地開発やマンション建設などを注視しつつ、適切な予算措置をしていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		延べ児童数（人）				4,180	3,668	3,244	3,568	3,328
活動指標		副食費免除児童数（人）				13	17	16	16	16
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		106,898	94,037	83,984	128,048	合計 83,983,775 円			
	財源	特定財源	76,429	67,501	59,103	95,901	負担金、補助及び 交付金 751,650 円 扶助費 83,232,125 円			
		一般財源	30,469	26,536	24,881	32,147				
	職員人件費 ②		1,151	796	827	847				
	総事業費（①+②）		108,049	94,833	84,811	128,895				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		子育てのための施設等利用給付交付金（国） 私立幼稚園授業料等軽減補助金（県）等				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			一時保育利用料補助事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	施設係		
3	2	1								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	一時保育を利用する児童の保護者へ、利用料の補助を行い、経済的負担の軽減を図る。				主たる内容	所得の低い世帯や支援が必要な児童の世帯等の児童が、一時保育を利用した場合に、保護者が支払うべき利用者負担額に対して補助を行う。			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市一時保育利用料補助金交付要綱							
		対象者	一時保育利用児童の保護者				事業期間	令和7年度～		
	実施方法	□直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
						補助人数 4人		補助人数 9人		
成果		一時保育を利用する保護者の負担を軽減することができた。								
課題		将来の利用者数の状況は不透明ではあるが、大規模な宅地開発やマンション建設などを注視しつつ、適切な予算措置をしていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		補助人数			—	—	4	9	9	
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	119	1,206	合計 118,800 円			
	財源	特定財源	0	0	80	804	負担金、補助及び交付金 118,800 円			
		一般財源	0	0	39	402				
	職員人件費 ②		0	0	827	847				
	総事業費（①＋②）		0	0	946	2,053				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		子ども・子育て支援交付金 地域子ども・子育て支援事業費補助金				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			保育園等管理事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	3							

PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心				
		基本施策	子育て支援				
		施策の内容	幼児教育・保育の充実				
	目的	公立保育園等を適切に維持管理することで 保育園児の快適な生活環境を維持する。			主たる内容	各種設備の保守管理をはじめとした園に関 する維持管理業務を行う。	
	位置づけ	関連計画					
		根拠法令					
	対象者	保育園児、保護者			事業期間	～	
実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						

BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い、円滑に保育園等を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料、おがきえ・あおば保育園の指定管理料等を支払い円滑に保育園等を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料、おがきえ・あおば保育園の指定管理料等を支払い円滑に保育園等を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料、おがきえ・あおば保育園の指定管理料等を支払い円滑に保育園等を維持管理する。		
	成果		円滑に保育園等を管理することができた。						
	課題		今後も園児の快適な生活環境を維持するよう努めていく必要がある。また、燃料費の高騰、夏季の高温化に伴う光熱水費、樹木の高木化による剪定委託料、施設・設備の老朽化による修繕料等の増加が予想される。						
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	指標								
	指標								
	他市との比較検証								

C 事業コスト	単位：千円		5年度 （決算）	6年度 （決算）	7年度 （決算）	8年度 （予算）	7年度 事業費内訳		
	事業費 ①		70,913	471,013	481,124	525,845	合計	481,124,350 円	
	財源	特定財源	9	43,557	12,240	33,827	需用費	42,816,937 円	
		一般財源	70,904	427,456	468,884	492,018	役務費	1,739,945 円	
	職員人件費 ②		3,990	4,778	4,961	5,080	委託料	422,818,150 円	
	総事業費（①+②）		74,903	475,791	486,085	530,925	使用料及び賃借料	13,749,318 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0		子ども・子育て支援交付金（国）			
		9年度以降の事業費見込		0		地域こども・子育て支援事業費補助金（県）等			

会計名			保育園等改修事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	保育園等の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図るため、園舎等を改修する。				主たる内容	園舎等の破損や痛みが激しい箇所を改修するなど、延命化のための保全を行う。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	保育園児、保護者				事業期間	～		
実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
			・かりがね保育園外倉庫防水等改修工事 ・かりがね保育園職員トイレ改修工事 ・かりがね保育園西側昇降口改修工事 ・日高乳児園駐車場設置工事 ・日高乳児園駐車場表面改修工事 他		・さくら保育園駐車場側溝改修工事 ・かりがね保育園物置小屋改修工事 ・双葉乳児園フェンス改修工事 ・慈友乳児園上裏等改修工事 ・おがきえ保育園外壁等改修工事（R6繰越分）		・日高乳児園フェンス改修工事 ・日高乳児園他人工芝設置工事 ・慈友乳児園空調機設置工事 ・日高乳児園空調機設置工事		
	成果	園舎、施設等を改修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に施設を保全し、施設の延命化を図ることができた。							
	課題	本事業は主に大規模ではない園舎、施設等の修繕を行うものであるが、建替えや大規模改造の実施により補修箇所は減少傾向にある。しかし、不具合箇所の早期発見、早期補修による予防的保全と、良好な保育環境を維持する必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	改修箇所数（箇所）			8	11	5	4	4
	活動指標								
	他市との比較検証								
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
事業費 ①		0	21,020	40,660	21,000	合計	40,659,770 円		
財源		特定財源	0	0	24,746	686	工事請負費	40,659,770 円	
		一般財源	0	21,020	15,914	20,314			
		職員人件費 ②		0	1,832	1,902	1,947		
総事業費（①+②）		0	22,852	42,562	22,947				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0	保育環境改善事業費補助金（県）				
		9年度以降の事業費見込		0	前年度繰越金				

会計名			給食運営事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	3							

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心				
		基本施策	子育て支援				
		施策の内容	幼児教育・保育の充実				
	目的	発達段階に応じた給食を提供し、栄養補給と心身の健全育成を目指し、円滑な保育園等の給食運営を図る。 また、給食調理業務は、少人数職種で勤務体制を編成しにくい状況のため、給食調理業務を委託し経費等の効率化を図る。		主たる内容	保育園等の賄材料費等の支払いや、調理室内の消耗品、備品等を順次更新する。 公立保育園等の給食調理業務を委託する。		
	位置づけ	関連計画					
		根拠法令					
		対象者	保育園児、給食担当職員、事業者		事業期間	～	
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他					

BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	・ 厨房機器年間保守委託（富士松南保育園他7園） ・ 食器消毒保管庫、食器洗浄機、ガス回転釜の更新（あおば保育園） ・ 給食献立検討会の実施 ・ 給食担当者研修会の実施 ・ 給食用食器の補充		・ 給食調理業務委託及び厨房機器年間保守委託（富士松南保育園他7園） ・ スチームコンベクションオーブンの更新（あおば保育園） ・ 給食献立検討会の実施 ・ 給食担当者研修会の実施 ・ 給食用食器の補充		・ 給食調理業務委託及び厨房機器年間保守委託（富士松南保育園他7園） ・ 炊飯器、冷凍庫等の更新（あおば保育園） ・ 給食献立検討会の実施 ・ 給食担当者研修会の実施 ・ 給食用食器の補充		・ 給食調理業務委託及び厨房機器年間保守委託（富士松南保育園他7園） ・ 食器洗浄機の更新（かりがね保育園、富士松南保育園） ・ 給食献立検討会の実施 ・ 給食担当者研修会の実施 ・ 給食用食器の補充		
	成果	計画に基づき、厨房機器や配膳用物品等を更新することで安全で衛生的な給食を提供することができた。また、給食献立検討会で前年の献立を点検・評価することで、適切な給食の提供をすることができた。							
	課題	アレルギー児の増加や、乳児枠拡大に伴い0歳児、1歳児の入所増加により、今後もアレルギー食、離乳食等の個々に応じた給食の正確な提供が必要となる。 アレルギー食や離乳食など細かい対応への依頼が増加していることから、今後もさらなる連携が必要となる。また、物価高に伴う賄材料費の増加が見込まれる。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	給食用食器の更新率（％）			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	指標								
	他市との比較検証								

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		116,050	247,158	253,132	270,014	合計	253,132,022 円	
	財源	特定財源	43,913	47,497	45,213	44,864	需用費	119,118,287 円	
		一般財源	72,137	199,661	207,919	225,150	役務費	429,000 円	
	職員人件費 ②		3,606	6,689	6,946	7,112	委託料	129,595,695 円	
	総事業費（①＋②）		119,656	253,847	260,078	277,126	備品購入費	3,989,040 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0		給食費徴収金 資源売却収入			
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			幼児園管理事業				担当部		次世代育成部										
一般会計							担当課		子ども課										
款							項目		担当係		施設係								
3							2		4										
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野		福祉安心															
		基本施策		子育て支援															
		施策の内容		幼児教育・保育の充実															
	目的		幼児園を適切に維持管理することにより、 幼児園児の快適な生活環境を維持する。			主たる内容		各種設備の保守管理をはじめとした園に関する維持管理業務を行う。											
	位置づけ	関連計画																	
		根拠法令																	
	対象者		幼児園児、保護者			事業期間		～											
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他																
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画											
		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼児園を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼児園を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼児園を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼児園を維持管理する。											
成果		円滑に幼児園を維持管理することができた。																	
課題		今後も園児の快適な生活環境を維持するよう努めていく必要がある。また、燃料費の高騰、夏季の高温化に伴う光熱水費、樹木の高木化による剪定委託料、施設・設備の老朽化による修繕料等の増加が予想される。																	
指標名称（単位）				実績値			目標値												
				5年度			6年度			7年度			8年度			10年度			
指標																			
指標																			
他市との比較検証																			
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）		6年度（決算）		7年度（決算）		8年度（予算）		7年度 事業費内訳							
	事業費 ①		71,060		78,254		83,756		92,980		合計 83,756,328 円								
	財源	特定財源	12		12		12		12		需用費 47,864,675 円								
		一般財源	71,048		78,242		83,744		92,968		役務費 3,408,232 円								
	職員人件費 ②		4,374		4,300		4,465		4,572		委託料 26,530,707 円								
	総事業費（①+②）		75,434		82,554		88,221		97,552		使用料及び賃借料 5,866,474 円								
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		備品購入費 86,240 円											
		7年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料													
		9年度以降の事業費見込		0															

会計名			幼児園改修事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	4							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	幼児園の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図るため、園舎等を改修する。				主たる内容	園舎等の破損や痛みが激しい箇所を改修するなど、延命化のための保全を行う。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	幼児園児、保護者			事業期間	～		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
			・衣浦幼児園藤棚等塗装工事 ・衣浦幼児園北側フェンス改修工事 ・小高原幼児園他5園砂場枠補修工事 ・かりがね幼児園遊戲室音響設備改修工事 ・日高幼児園他2園フェンス改修工事 他		・東刈谷幼児園他2園上裏等改修工事 ・双葉幼児園南園舎外階段設置工事 ・【FM】小垣江幼児園ダムウエーター改修工事 ・小垣江幼児園空調設備改修工事（R6繰越分）		・【FM】富士松南幼児園屋上防水改修工事 ・【FM】小垣江幼児園外壁等改修工事 ・【FM】朝日幼児園屋上防水改修工事		
	成果	老朽化した園舎、施設等を改修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に施設を保全し、施設の延命化を図ることができた。							
	課題	本事業は主に園舎、施設等の大規模な改修を行うものであるが、大規模改造の実施により改修箇所は減少傾向にある。しかし今後も外壁改修や屋上防水等のように定期的に改修が必要な箇所については、公共施設維持保全計画に基づき、計画的に改修を行う必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	改修箇所（箇所）			22	35	4	3	3
	活動指標	大規模改造設計（園）			1	—	—	—	—
	他市との比較検証								
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
事業費 ①		0	46,219	37,582	96,568	合計	37,582,185 円		
財源		特定財源	0	0	2,768	36,484	工事請負費	37,582,185 円	
		一般財源	0	46,219	34,814	60,084			
職員人件費 ②		0	2,708	2,811	2,879				
総事業費（①＋②）		0	48,927	40,393	99,447				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0	保育環境改善事業費補助金（県）				
		9年度以降の事業費見込		0	前年度繰越金				

会計名			給食運営事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	幼児園係	
3	2	4							

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心					
		基本施策	子育て支援					
		施策の内容	幼児教育・保育の充実					
	目的	発達段階に応じた給食を提供し、栄養補給と心身健全育成を目指し、円滑な幼児園の給食運営を図る。			主たる内容	給食の実施に必要な消耗品等の購入及び会計年度任用職員の雇用を行う。		
	位置づけ	関連計画						
		根拠法令						
	対象者	幼児園児		事業期間	平成11年度～			
実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							

BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	・安全衛生に留意したマニュアルのもとに実施 ・牛乳アレルギーへの対応 ・1号認定(預かり保育申込児)2号認定のおやつ購入		・安全衛生に留意したマニュアルのもとに実施 ・牛乳アレルギーへの対応 ・1号認定(預かり保育申込児)2号認定のおやつ購入		・安全衛生に留意したマニュアルのもとに実施 ・牛乳アレルギーへの対応 ・1号認定(預かり保育申込児)2号認定のおやつ購入		・安全衛生に留意したものと なるようマニュアルを見直し 実施する ・牛乳アレルギーへの対応 ・1号認定(預かり保育申込児)2号認定のおやつ購入		
	成果	給食事業に必要な消耗品の購入や衛生に留意した設備の管理等をし、安全な給食が提供できている。 マニュアルの見直しを毎年行い、常に、安全安心な給食が提供できている。							
	課題	アレルギーがある幼児の安全に留意し、アレルギーのうち、卵・乳を抜いたおやつを提供している。しかし、様々なアレルギーが増加していることから、誤食防止の徹底のための対応マニュアルを都度見直す必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	指標								
	指標								
	他市との 比較検証								

C 事業コスト	単位：千円		5年度 (決算)	6年度 (決算)	7年度 (決算)	8年度 (予算)	7年度 事業費内訳		
	事業費 ①		31,377	38,561	43,250	49,617	合計	43,250,478 円	
	財源	特定財源	11,822	7,383	8,450	12,140	報酬	20,522,512 円	
		一般財源	19,555	31,178	34,800	37,477	職員手当等	7,574,880 円	
	職員人件費 ②		767	796	827	847	旅費	452,460 円	
	総事業費 (①+②)		32,144	39,357	44,077	50,464	需用費	14,018,626 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		備品購入費	682,000 円
		7年度までの累積事業費		0		給食費徴収金 こども園事業費寄付金			
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			地域子育て支援事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	幼児園係		
3	2	4								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	地域における子ども・子育て支援							
	目的	少子化や子育てを巡る様々な問題に対し、地域の方に幼児園で行う講演会や親子触れ合い遊びなどの講座を提供することで、子育ての支援をするとともに、地域全体の教育の向上を図る。				主たる内容	保護者に対する教育相談や幼児教育に関する各種講座を開催する。			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令								
	対象者	小学校入学前の子どもとその保護者			事業期間	平成12年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・ほのぼのルーム全幼児園15園で実施 5月から3月までの22回実施のべ利用者数3,980人（1園1回あたり平均利用者数11人） ・親子触れ合い遊び、各種講座 5月から3月までの65回実施のべ利用者数4,251人		・ほのぼのルーム全幼児園15園で実施 5月から3月までの22回実施のべ利用者数3,787人（1園1回あたり平均利用者数11人） ・親子触れ合い遊び、各種講座 5月から3月までの47回実施のべ利用者数3,032人		・ほのぼのルーム（5月から3月まで）全幼児園15園で実施 5月から3月までの22回実施のべ利用者数3,219人（1園1回あたり平均利用者数10人） ・親子触れ合い遊び、各種講座 5月から3月までの45回実施のべ人数2,648人		・ほのぼのルーム（5月から3月まで）全幼児園15園で実施 ・親子触れ合い遊び、各種講座		
成果		幼児に対する各種講座やほのぼのルームで地域の教育センターとして施設や機能を地域に開放したことで積極的に子育て支援をすることができた。								
課題		ほのぼのルームへの関心が高まっているため、園と連携して内容の充実を図っていく必要がある。親子触れ合い遊び、各種講座については、参加しなくなるような内容の充実を図っていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		実施回数（回）			65	47	45	60	60	
活動指標		利用者数（人）			4,251	3,032	2,648	3,000	3,000	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,038	1,868	2,012	2,401	合計	2,012,310 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	1,875,592 円		
		一般財源	2,038	1,868	2,012	2,401	需用費	136,718 円		
	職員人件費 ②		767	796	827	847				
	総事業費（①+②）		2,805	2,664	2,839	3,248				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
		9年度以降の事業費見込		0						